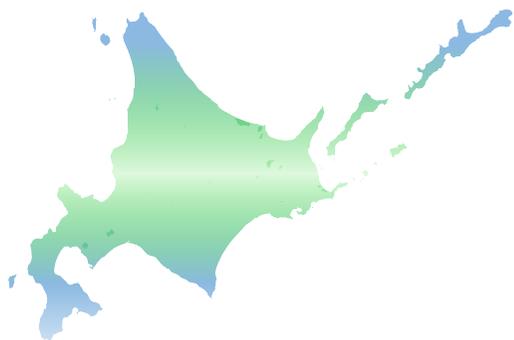




その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

## 資料4

# 令和3年度北海道在宅医療推進支援センター事業の取組



令和3年（2021年）10月5日（火）  
北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課

# 北海道在宅医療推進支援センター

事業のご案内

実施  
主体

北海道医師会・一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）  
によるコンソーシアム（北海道からの委託）

北海道在宅医療推進支援センター事業では、  
北海道内における在宅医療の推進を目的とした  
各種取組を実施します



## 地域における在宅医療の推進について、 ご相談・お問い合わせください



### 医療アドバイザーを 派遣します



保健所、多職種連携協議会、市町村等の求めに応じて地域に「医療アドバイザー」を派遣し、在宅医療の推進に向けた専門的な助言・アドバイス・フォローアップを行います。

#### 医療アドバイザー

北海道医師会、北海道家庭医療学センターなどの  
専門的知見を有する医師

### 在宅医療の推進に向けた 各種研修会等を実施します



#### 在宅医療推進に係る医師等向け研修

在宅医療をスタートしたいと考える医師を対象とした研修

#### 在宅医療に係る同行研修

在宅医療に従事しようとする医師が、実際の在宅医療の現場を体験

#### 人生会議(ACP)普及に向けた医療従事者向け研修

医療従事者を対象とした研修会

#### 地域住民に対する人生会議(ACP)の普及・啓発

地域住民の在宅医療への理解、人生会議の普及・啓発を目的とした各種イベントを実施

#### 多職種連携協議会構成員を対象とした研修

多職種連携協議会構成員を対象に、在宅医療に関する取組活性化を目的とした研修会を開催

### 基礎的な情報を整理し、 公表します



- 北海道内、全国における在宅医療の先進的な取組について調査、事例として整理します。
- 国保データベースなど既存のデータを整理・分析し、地域ごとの課題を洗い出します。
- 医療機関へのアンケート調査や保健所等へのヒアリングを通じて、在宅医療に係る具体的な取組や課題を整理します。

### コーディネーターによる 地域ごとの課題分析から、 各種研修を企画します

- コーディネーター(医療法人財団 老蘇会 静明館診療所 医療ソーシャルワーカー 田上 幸輔 氏)を配置、医療アドバイザーとともに地域に赴き、助言・アドバイス・フォローアップ等を行います。
- 先進的な取組の把握、医療機関や保健所等へのヒアリング、アンケート調査や各種研修の企画・実施などにより、地域の課題を把握します。



# 令和3年度 北海道在宅医療推進支援センター活動予定

## 1 各医療圏域又は地域単位の現状・課題分析

### (1) 医療圏域・地域単位等による在宅医療整備・実施状況の把握と整理

<実施内容>

KDBデータを整理して、地域単位における在宅医療整備・実施状況を概観できる資料を作成

### (2) 北海道内の在宅医療の提供に係る実態・課題の把握

<実施内容>

既存統計等では把握できない、北海道における在宅医療の提供に係る実態や課題を把握することを目的として、保健所及び医療機関に対してヒアリング調査を実施する。

【調査対象】

北海道内の地域単位28箇所（保健所20箇所、医療機関10箇所程度）

【調査方法】

訪問によるヒアリング調査（Webによるヒアリング調査）

【調査時期】

令和3年6月～令和4年1月頃

※9月末現在の実施地域（保健所5箇所）

## 2 医療アドバイザーの派遣

<実施内容>

在宅医療提供体制の課題について、各保健所、多職種連携協議会、市町村等から求めがあった場合、医療アドバイザーの派遣を行い、専門的な知見に基づき、在宅医療の推進に向けたアドバイス・助言を行い、一定期間後にフォローアップを行う。また、複数回医療コーディネーターを派遣し、在宅医療を推進するモデル地区を設定することを検討する。

【実施地域（予定）】

・東胆振圏域（東胆振地域）

苫小牧市は、R3年度から介護保険の地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業を苫小牧市医師会に委託（とまこまい医療介護連携センター）し、在宅医療提供体制整備を含めた在宅医療の推進に取り組む。東胆振地域の在宅医療の中心となる苫小牧市の取組に対し、支援を行う。

・後志圏域（羊蹄地域）

羊蹄地域は、各町村の個々医療機関が訪問診療を行っている状況であり、地域における面的な在宅医療提供体制を目指すべく、各医療機関等へのヒアリング等を実施し、連携体制を構築を検討する。

## 3 在宅医療に係る先進事例集の作成

### <実施内容>

北海道内外の在宅医療を先行に取り組んでいる事例について、当該地域の保健所及び医療機関へヒアリング調査を実施のうえ事例集を追加していく。

#### 【調査対象】

- ・北海道内 3事例程度（保健所各1箇所、医療機関各1箇所程度）
- ・北海道外 1事例（保健所各1箇所、医療機関各1箇所程度）

#### 【調査方法】

- ・訪問によるヒアリング調査（Webによるヒアリング調査）

#### 【調査時期】

- ・令和3年10月～令和4年1月頃

## 4 在宅医療に係る各種研修会の実施①

### <実施内容>

#### (1) 在宅医療推進に係る医師等向け研修

在宅医療に従事している、又は従事しようとする医師等の在宅医療に対する「心理的なハードル」を下げ、在宅医療への新たな参入を促すため、在宅医療の制度や診療報酬などに関する知識の習得を目的とした研修をテーマごとのオンライン研修として実施する。

#### 【研修対象】

- ・在宅医療に従事している、又は従事しようとする医師
- ・訪問看護師、在宅医療・介護連携に関わる市町村職員 など

#### 【開催回数・方法】 3回程度・Zoomを用いたオンライン研修

#### 【研修内容（予定）】 在宅医療の基本と診療報酬、在宅医療実践事例、連携による在宅医療の取組 など

#### 【実施時期】

実施時期： 令和3年11月～令和4年1月にかけて3回程度開催

## 4 在宅医療に係る各種研修会の実施②

### (2) 在宅医療に係る同行研修

在宅医療に従事しようとする医師が、実際の在宅医療を実施する医療機関の医師とともに在宅患者宅に同行することにより、在宅医療の実際を経験する「同行研修」。

【研修対象】在宅医療に関心のある医師、在宅医療を開始しようと考えている医師など

【受け入れ先】・栄町ファミリークリニック（札幌市） ・向陽台ファミリークリニック（千歳市）  
・寿都町立寿都診療所（寿都町） ・本輪西ファミリークリニック（室蘭市）  
・北星ファミリークリニック（旭川市） ・更別村国民健康保険診療所（更別村）

【実施回数（予定）】3人（3回）

【実施時期】令和3年12月頃～令和4年2月頃

### (3) 人生会議（ACP）普及に向けた医療従事者向け研修

人生の最終段階における医療に関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化するため、医療従事者等に向けた研修をテーマごとのオンライン研修。

【研修対象】医療機関等において人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定に携わっている・携わろうとしている医師及び医療従事者

【開催回数・方法】3回程度・Zoomを用いたオンライン研修

【研修内容（予定）】ACPの基本、患者を中心としたACPの導入、ACPを踏まえた連携 など

【実施時期】令和3年12月～令和4年2月 3回程度開催

### (4) 在宅医療及び人生会議（ACP）に係る住民向け研修

北海道民の在宅医療への理解及び人生会議（ACP）の普及・啓発を目的とした研修。

【研修対象】北海道内の在宅医療等に関心のある住民

【開催場所】道内5箇所（開催済み：札幌、候補：八雲町、苫小牧市、帯広市、岩見沢市 など）

【研修内容（予定）】「人生会議」に関する講演・個人ワーク、在宅医療の情報提供 など

【実施時期】令和3年6月～令和4年3月

### (5) 全道の多職種連携協議会の構成員等を対象とした研修

全道の多職種連携協議会の活性化を目指し、各圏域共通の課題や先進的取組の共有を目的とした研修会を開催する。

【研修対象】多職種連携協議会構成委員、在宅医療・介護連携推進事業担当者、保健所職員 等

【開催回数・方法】1回・Zoomを用いたオンライン研修

【研修内容（予定）】在宅医療推進のための多職種連携の仕組みづくり

【実施時期】令和3年10月

業務スケジュールは次ページ(A4横)を御覧下さい。

※新型コロナウイルスの感染拡大等により、スケジュールは変更となる場合があります。